

伝説のバンド《クイーン》ボーカル フレディ・マーキュリー

語り継がれる本当の姿

監督・脚本・編集：フィンレイ・ボールド

フレディ マーキュリー



The Show Must Go On

『ボヘミアン・ラブソディ』誕生秘話と、クイーンのメンバーのインタビューを収録。その後、音楽界に与えた影響などを考察する。

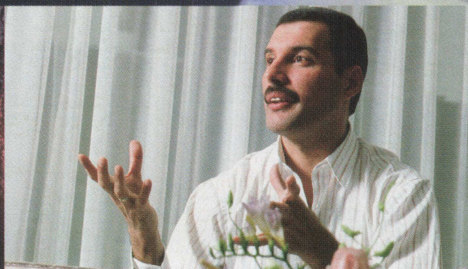
フレディ・マーキュリー（本名：ファルーク・バルサラ）は、イギリスのロックバンド、クイーンのボーカリスト。1946年にタンザニア・ザンジバル島で生まれた彼は、1971年にバンド「スマイル」に加入していたギタリストのブライアン・メイとドラマーのロジャー・テイラー、オーディションによって選ばれたベーシストのジョン・ディーコンらと「クイーン」を結成する。「ボヘミアン・ラブソディ」や「伝説のチャンピオン」など数々のヒット曲を生み出したフレディは類稀なる歌唱力と圧倒的なステージパフォーマンスで世界中のファンを魅了し、「クイーン」を世界的なバンドへと押し上げる。1991年、病によってフレディが亡くなった後も、彼の音楽は世界中で愛され続け、伝説のロックスターとして永遠に語り継がれていく。

派手なステージ・パフォーマンス、4オクターブの音域で知られる「クイーン」のリード・ボーカル、フレディ・マーキュリー。彼の出生から「クイーン」を結成し世界を席卷した音楽活動、エイズに罹患し45歳の若さで急逝するまでの激動の人生を貴重な写真・映像、関係者達のインタビューで綴る。「クイーン」結成時、ビジュアルイメージをつくるにあたり、デヴィッド・ボウイやセックス・ピストルズなどロックミュージシャン、アーティストの写真家として知られるミック・ロックにモノクロのイメージで行きたいと相談。ロックが映画女優マレーネ・ディートリッヒのポートレートのようなアプローチを提案したことから、下から煽った影の濃い4人のビジュアルイメージが完成した。この写真・映像が「ボヘミアン・ラブソディ」のメインビジュアルとなったエピソード、さらには約6分間にわたる「ボヘミアン・ラブソディ」の誕生秘話も興味深い。圧倒的なパフォーマンスが形成された経緯や、フランク・シナトラが師事したトロン・ボーン奏者のトミー・ドーシーに歌の訓練を受けたこと、スペインのオペラ歌手モンセラ・カバジェを敬愛しベルト発声のスタイルを参考にしたことなどフレディが影響を受けたアーティストにまで言及される。そして晩年、エイズに感染しながらもその事実をひたすら隠し続けた真意、「クイーン」メンバーの想いなどを収録。改めてフレディを苦しめた死の真相が解き明かされる。世代、国、性別を超えて愛され続けるフレディ・マーキュリーの知られざる一面が、写真・映像、関係者の証言から浮き彫りにされる中編ドキュメンタリーが今、世界に先駆け早くも日本に初上陸！

CAST: カシミラ・クック / ポール・ガンバッチャーニ / ロージー・ホライド / ミック・ロック / ポール・ワッツ

監督・脚本・編集: フィンレイ・ボールド / 製作: ブライアン・アベック / 編集: ジョーダン・ヒル、ダニエル・ウィンター / 音響: クリスチャン・タント

2023年 / イギリス / 49分 / カラー / 1.85:1 / 5.1ch / 英語 / 原題「FREDDIE」 / 字幕監修: 吉田聡志 (MUSIC LIFE CLUB) / 協力: MUSIC LIFE CLUB / 配給: NEGA / 配給・宣伝協力: アップリンク



freddie2023.jp

2024.2.16 ROADSHOW

